

三河の昆虫

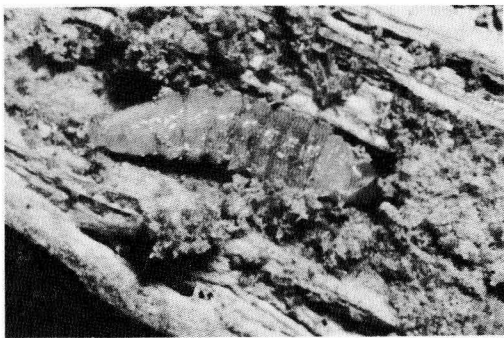
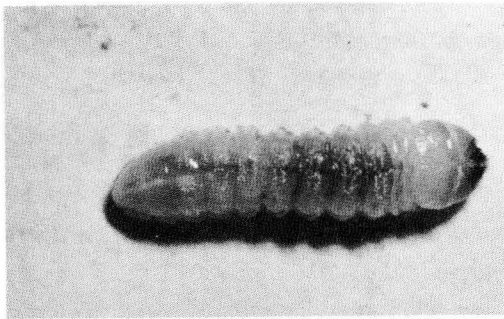
No. 23 1979年3月

〒441-01 宝飯郡小坂井町
大宇伊奈字佐脇原 300-1062
山崎 隆 弘方
三河昆虫研究会 発行
第一プリント社 印刷
☎《0564》21-4463

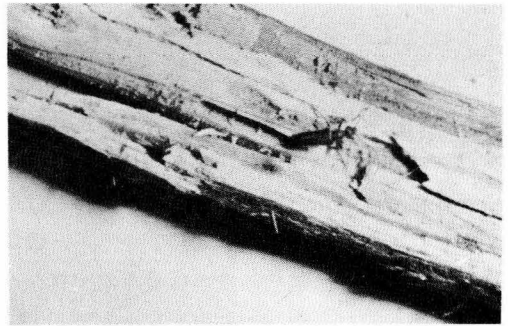
ミヤマハリハナカミキリが杉材から羽化

河路掛吾

ミヤマハリハナカミキリ *Anoplodera azumensis* (MATSUSHITA et TAMANUKI) は春のカエデの花上で多く採集できる。しかし今までに筆者の知るかぎりでは生態の記録はなかった。筆者は本種をスギの枯枝中で成虫、幼虫をそれぞれ採集した。採集に伴ない若干の観察を行ったので報告する。



ミヤマハリハナカミキリの幼虫(上), さなぎ(下)



成虫

1. 採集日：1978年3月6日。
2. 採集地：南設楽郡鳳来町のスギ林。
3. 加害木の状態

スギ生木(直径約20cm)の地面より3mの所についていた枯枝(長さ約2m, 直径5~1cm)。枯枝は日陰にあり水分が多かった。枝基部より1m位の所より先方へ約30cmの範囲で加害跡が観察できた。加害跡は年輪と年輪との間に粉状の糞を軟らかくつめ不定形に食い込んだ様子が観察できた。成虫、幼虫はそれぞれ1頭ずつで、加害跡の中程に位置し、成虫は材部表面より深さ3mmの所にある円筒状(直径2mm, 長さ10mm)の蛹室中で採集。幼虫は体長7mmで材の心材部に確認した。

4. 飼育結果

幼虫を加害木にもどし割った所をテープで固定した。長さ5cmに切って持ち帰り、湿った砂を敷いたケースに入れた。4月8日, 5月4日, 6月

20日に材を割って観察したが、体長8mmの幼虫を確認しただけだった。幼虫はやや扁平で乳白色。頭部は大きく眼部がよく目立つ。材中より外へ出すと体を腹面に向かってややC字状に曲げる。一見して、他のカミキリの幼虫とは、異種な感じがする。その後、10月10日に材を割った所、材心部の蛹室に成虫を見つけた。

(1978年5月21日採集)

三河の蝶をさぐる 「シルビヤシジミ」

杉坂美典

私が、高校1年生になったばかりであった。学校には、生物クラブがあり、諸先輩の残した数々の研究成果や文献があった。ある日、なんとはなしに文献などを引っぱり出して見ていると、数年前にまとめられた岡崎市の蝶の採集報告が見つかった。その内容に一つ一つ納得しながら読んでいった。すると、ふと、私の目にとまった種が現われてきた。シルビヤシジミであった。私は自分の目を疑った。もう一度、見なおした。確かにシルビヤシジミと書かれていた。採集地は、矢作川の堤防と書かれてあったように記憶している。そこで、私は、機会あるごとに、ネットを手には矢作川の堤防に足を運んだ。1年、2年、3年が過ぎた。ついに、一度もシルビヤシジミを見ることができなかった。私は考えた。もう絶滅してしまったのだろうか。それとも、同定の誤りなのだろうか。心の中に岡崎市に産したシルビヤシジミの記録が、1つのしこりになって、早や十年の年月が過ぎてしまった。

今年の正月のことである。ある会で、先輩の久永先生から、そのシルビヤシジミの記録は、岡崎市の上合歓木町で採集されたものであるという話を聞くことができた。私は、大変驚いた。何と、上合歓木町は、私の勤めている小学校の学区であっ

たからである。そこで、数年ぶりにシルビヤシジミを求めて歩きまわったが、やはりだめであった。

このシルビヤシジミとの出会いは、奄美大島が最初であった。7月の中旬、小湊の小学校の校庭に、本種は多数、発生していた。小さくブルーに光るかわいらしい姿は、亜熱帯の島の小さな女神である。台湾に生息しているホリイコシジミよりやや大きめであるが、やはり、同じようによく目をこらして見てないと見失ってしまう。そのかわいらしさに見とれて、ネットを振らず、後を追いかけてひとときを過ごしたことが思い出される。

現在のところ、私の知る限りでは、三河地方に本種は生息していない。愛知県では、西部に発生地がある。しかし、ひょっとすると、この三河地方の農村・山村の一角で、ほそぼそと生息し、可憐な美しさを輝かしているかもしれない。

(1978年5月22日採集)

愛知県南設楽郡における ウラクロシジミの記録

鳥居 彰

1977年11月南設楽郡三河湖付近でマンサクよりウラクロシジミの越冬卵を採卵し翌春羽化したので報告します。

1978年5月18日 1♂ 1♀ 羽化

1978年5月21日 1♀ 羽化

1978年5月22日 1♀ 羽化

(卵は休眠芽の基部付近から直径10mmほどの小枝より、1~2個づつ発見できた)。

同地は瀬戸市定光寺などに比べ個体数ははるかに少ないが分布は広いようで、今後時間のゆるすかぎり調べていきたいと思います。

なお、同地に同行していただき、飼育に協力して下さった太田達行氏に感謝します。

(1978年5月22日採集)

三河大島の蝶

鈴木友之

1978年8月27日の採集会に参加し、三河大島の蝶について調査したところ、以下のような結果であったので、ここに記録しておく。

- 1) アゲハ … 数回目撃した(未採集)。
- 2) クロアゲハ … 2~3回目撃した(未採集)。
- 3) カラスアゲハ … 1♂, 神社境内で採集。
- 4) キチョウ … 1♂採集, 他に目撃なし。
- 5) ヤマトシジミ … 最も多くみられた。3♂1♀採集。
- 6) ルリタテハ … 1頭採集, 他に目撃なし。
- 7) チャバネセセリ … 1頭採集, 他に目撃も2回あり。
- 8) イチモンジセセリ … 3頭採集, 普通にみられた。

シロオビチビサキコリの分布について

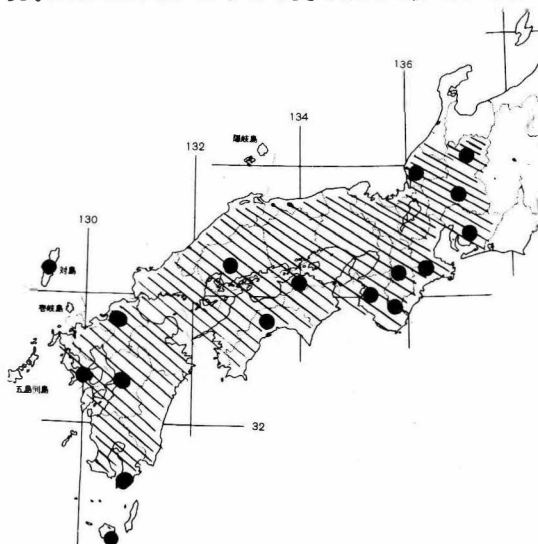
大平仁夫

シロオビチビサキコリは、サビキコリの仲間では小形で特異な形をしているのでよく知られている。また、本種はこの仲間では珍らしく樹上性の種で、主にシイやカシの暖帯照葉樹から得られている。

本種の分布は岐阜県、福井県あたりを北限にして、それより南に広く分布している。中国地方と四国地方での記録が少ないが、これは調査がまだよくできていないためと思われる。三重県では伊勢、志摩地方に広く分布し、紀伊半島一帯では普

通のようである。岐阜県では高山地方にも分布しているが、全山シイ類の暖帯林で占められている岐阜市金華山では、本種は普通にみられる。この地方では最もよくみられる場所ではないかと思われる。

愛知県ではどうしてか本種はきわめて稀で、現在では南設楽郡鳳来町の三河大野からの記録があるだけのものである。私も渥美半島のシイ、カシ林でずいぶん探したが得ていない。大変興味ある現象と思われる。どうして愛知県には少ないのか



シロオビチビサキコリの分布略図

を究明してみたいと思う。資料をお持ちの方は御教示頂ければ幸いである。

北設豊根村のカミキリ

竹内克豊

1976~1978年にかけて、愛知県北設楽郡豊根村で採集できたカミキリムシをここに記録する。

1. ヒナルリハナカミキリ (津川, 2-V, 1976, 2 exs.; 中村, 14-V, 1978, 1 ex.)。
2. キバネニセハムシハナカミキリ (津川, 2-

- V, 1976, 1 ex.; 中村, 14-V, 1978, 1 ex.; 猪古里, 21-V, 1978, 1 ex.)。
3. ピックニセハムシハナカミキリ (中村, 14-V, 1978, 1 ex.; 猪古里, 21-V, 1978, 1 ex.; 猪古里, 21-V, 1978, 1 ex.)。
4. アカイロニセハムシハナカミキリ (猪古里, 21-V, 1978, 1 ex.)。
5. セスジヒメハナカミキリ (津川, 2-V, 1976, 5 exs.; 中村, 14-V, 1978, 2 exs.)。
6. フタオビノミハナカミキリ (猪古里, 21-V, 1978, 2 exs.)。
7. ミヤマルリハナカミキリ (津川, 2-V, 1976, 9 exs.)。
8. クロルリハナカミキリ (川宇連, 2-VII, 1978, 1 ex.)。
9. ハネビロハナカミキリ (川宇連, 2-VII, 1978, 2 exs.)。
10. マルガタハナカミキリ (新野峠, 23-VII, 1978, 1 ex.)。
11. フタスジハナカミキリ (新野峠, 23-VII, 1978, 1 ex.)。
12. ヨツスジハナカミキリ (新野峠, 23-VII, 1978, 1 ex.; 山内, 23-VII, 1978, 1 ex.)。
13. オオヨツスジハナカミキリ (新野峠, 23-VII, 1978, 1 ex.)。
14. コウヤホソハナカミキリ (新野峠, 23-VII, 1978, 1 ex.)。
15. チャイロヒメハナカミキリ (新野峠, 23-VII, 1978, 2 exs.)。
16. ノコギリカミキリ (山内, 23-VII, 1978, 1 ex.)。
17. ホソカミキリ (山内, 12-VIII, 1978, 1 ex.)。
18. コジマヒゲナガコバネカミキリ (津川, 2-V, 1976, 1 ex.)。
19. チャイロヒメハナカミキリ (川宇連, 2-VII, 1978, 1 ex.)。
20. ホタルカミキリ (川宇連, 21-V, 1978, 1 ex.)。
21. ヒメクロトラカミキリ (津川, 2-V, 1976, 1 ex.; 猪古里, 21-V, 1978, 1 ex.)。
22. トゲヒゲトラカミキリ (津川, 2-V, 1976, 2 exs.; 中村, 14-V, 1978, 1 ex.)。
23. シロトラカミキリ (津川, 2-V, 1976, 1 ex.; 猪古里, 21-V, 1978, 1 ex.)。
24. ホソトラカミキリ (新野峠, 23-VII, 1978, 1 ex.; 山内, 23-VII, 1978, 1 ex.)。
25. エグリトラカミキリ (川宇連, 2-V, 1978, 1 ex.; 新野峠, 23-VII, 1978, 1 ex.; 山内, 23-VII, 1978, 2 exs.)。
26. キスジトラカミキリ (川宇連, 2-VII, 1978, 2 exs.; 山内, 23-VII, 1978, 2 exs.)。
27. ニイジマトラカミキリ (山内, 23-VII, 1978, 1 ex.; 16-VIII, 1978, 1 ex.)。
28. フタオビミドリトラカミキリ (佐久間ダム付近, 16-VIII, 1978, 1 ex.)。
29. クビアカトラカミキリ (山内, 23-VII, 1978, 4 exs.)。
30. ウスイロトラカミキリ (川宇連, 2-VII, 1978, 4 ex.; 山内, 23-VII, 1976, 2 ex.)。
31. アトモンサビカミキリ (川宇連, 21-V, 1978, 1 ex.)。
32. アトジロサビカミキリ (川宇連, 2-VII, 1978, 1 ex.)。
33. ヒメナガサビカミキリ (川宇連, 2-VII, 1978, 1 ex.)。
34. ヒメヒゲナガカミキリ (川宇連, 2-VII, 1978, 2 exs.)。
35. キボシカミキリ (山内, 23-VII, 1978, 1 ex.)。
36. ビロードカミキリ (山内, 23-VII, 1978, 1 ex.)。
37. シラホシカミキリ (川宇連, 2-VII, 1978, 1 ex.; 山内, 16-VIII, 1978, 1 ex.)。
38. ヤツメカミキリ (川宇連, 2-VII, 1978, 1 ex.; 山内, 16-VIII, 1978, 1 ex.)。